8b-8.10　情報の削除

管理策：情報システム、装置又はその他の記憶媒体に保存している情報は、必要でなくなった時点で削除する。

目的：　取扱いに慎重を要する情報の不用意な漏えいを防止し、情報の削除に関する法令、規制及び契約上の要求事項を順守するため。

詳細管理策

【情報の削除全般】

8b-8.10.1　取扱いに慎重を要する情報は、望ましくない開示のリスクを減らすために、必要な期間より長く保持しない。

8b-8.10.2　システム、アプリケーション及びサービスに関する情報を削除する場合は、次の事項を考慮する。

a）業務の要求事項に従い、また、関連する法令及び規制を考慮して、削除手法を選択する。

b）削除の結果を証拠として記録する。

c）情報の削除を行うサービス提供者を利用する場合、サービス提供者から情報の削除の証拠を得る。

8b-8.10.3　第三者が組織に代わってその情報を保存する場合、組織は、情報の削除に関する要求事項を第三者との合意に含め、サービスの実施中及び終了時に実行させることを検討する。

【削除手法】

8b-8.10.4　組織のデータ保持に関するトピック固有の方針に従い、また、関連する法令及び規制を考慮して、取扱いに慎重を要する情報は、必要がなくなったとき、次の方法で削除する。

a）必要でなくなったとき、情報をセキュリティを保って破壊するようにシステムを構成する。

b）古い版、複製及び一時ファイルは、それらがどこにあっても削除する。

c）情報を恒久的に削除し、専門家が使う復旧ツール又はフォレンジックツールを使用しても情報が復旧できないことを確実にする助けとするために、広く認められた、セキュリティを保った削除ソフトウェアを使用する。

d）広く認められ、認定された、セキュリティを保った廃棄サービス提供者を利用する。

e）処分する記憶媒体の種類に適した処分の仕組みを使用する。

8b-8.10.5　クラウドサービスを利用する場合、組織はクラウドサービスプロバイダが提供する削除手法が許容できるかどうかを検証し、許容できるならばそれを利用し、又はクラウドサービスプロバイダに情報の削除を要請する。

8b-8.10.6　削除プロセスは、利用可能かつ適用可能な場合には、トピック固有の方針に従って自動化する。

（8b-8.10.6参考）　削除する情報の、取扱いに慎重を要する度合いに応じて、ログによって、削除プロセスが実行されたことを追跡又は検証することが可能である。

8b-8.10.7　装置・機器を業者に返送するとき、取扱いに慎重を要する情報が意図せず漏えいすることを防止するために、装置・機器を組織の施設から出す前に、補助記憶媒体及びメモリを取り除くことによって、取扱いに慎重を要する情報を保護する。

8b-8.10.8　組織はその装置・機器で取り扱う情報の分類に従って適切な手法を選択する。

8b-8.10.9　記憶装置を物理的に破壊し、同時にそこに含む情報を消去するために、7b-7.14にある対策を適用する。

8b-8.11　データマスキング

管理策：データマスキングは、適用される法令を考慮して、組織のアクセス制御に関するトピック固有の方針及びその他の関連するトピック固有の方針、並びに事業上の要求事項に従って利用する。

目的：　ＰＩＩを含む、取扱いに慎重を要するデータの開示を制限し、法令、規制及び契約上の要求事項を順守するため。

詳細管理策

8b-8.11.1　取扱いに慎重を要するデータの保護が必要である場合、組織は仮名化、匿名化などを含むデータマスキングの手法を利用してそのデータを隠すことを検討する。

（8b-8.11.1参考）　仮名化又は匿名化の手法では、次のことが可能である。

a）ＰＩＩのデータを隠す。

b）ＰＩＩ主体の真のアイデンティティ又はその他の取扱いに慎重を要する情報を偽装する。

c）ＰＩＩとＰＩＩ主体のアイデンティティとの間のひも（紐）付け又は他の取扱いに慎重を要する情報との間のひも（紐）付けを切る。

8b-8.11.2　仮名化又は匿名化の手法を利用する場合、データが十分に仮名化又は匿名化されていることを検証する。

8b-8.11.3　データの匿名化では、取扱いに慎重を要する情報の全ての要素に対して有効とするように考慮する。

（8b-8.11.3参考）　データの匿名化が適切に考慮されていない場合、ある人物が直接識別できるデータが匿名化されていても、間接的に識別を可能とする別のデータが存在して、その人物が識別できる場合がある。

8b-8.11.4　データマスキング手法には、仮名化、匿名化のほかに、次を含む手法を考慮する。

a）データを暗号化する。

b）文字をヌル化又は消去する。

c）数及び日付を変える。

d）取扱いに慎重を要するデータのうち特定の値を別の値に置き換える。

e）値をそのハッシュ値に置き換える。

8b-8.11.5　データマスキング手法を実装する場合、次の事項を考慮する。

a）利用者に必要最小限のデータだけを示すように問合せ（クエリ）及びマスクを設計する。

b）データセットの一部の記録に関して、利用者に一部のデータを見せないことが望ましい場合、データを難読化する仕組みを設計し、実装する。

c）データを難読化する場合、データを難読化しているかどうかを利用者が知ることができないことを、ＰＩＩ主体が要求できるようにする。

d）法令又は規制上の要求事項。